

# 「MICE 施設より、市民の声や要求を生かした街づくりを！」など、切実な声



「市民アンケート」へのご協力ありがとうございます……引き続き、ご協力よろしくお願ひいたします！

## 【桜町再開発・MICE 施設整備について】

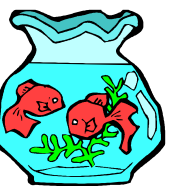
\*80通のアンケートに、建設賛成は4人でした。

- 市民の憩いの場として桜町再開発が来春から着工しますが、当店も含め、県民百貨店・センタープラザ、数千人規模の失業者が出ます。再開発の良さだけが報道される中、現実として何の保証もなく、皆不安を持って仕事をしています。(50代・男)
- ごまかしの需要見込みをもとに、不透明な事業計画を強引にすすめている。(60代・男)
- 市民の要求とはかけ離れた MICE 施設より、私たち市民の声や要求を生かした街づくりが大切だと思う。パブリックコメントに参加したが、発言者の誰一人賛意を表明した人はいなかった。(70代・女)
- 第2の夕張になる。(60代・男)
- 大型ハコモノは時代遅れです。各地で失敗がたくさん聞かれます。
- 福祉や弱者に税金を使うべきだ。(50代)
- 開発より市民の生活を最優先に。(70代・女)
- MICE をつくる余裕があるなら、住民税を下げてください。(20代・女)
- ゼネコン政治の極み！絶対に認められない。(50代・男)
- 市の財政は厳しく、教育予算は少ないのに、利用見込みも不確実な大型ハコモノは維持費もかかるので反対です。市民の声をしっかり聞いてほしい。(60代)

## 【その他の意見】

- 熊本市は、生活道路の未整備が多すぎます。雨が降れば水が溜まり、歩けば道幅が狭く、事故に会いそう。家にこもってれば、熊本市特有の暑さで熱中症。年金生活ではクーラーもかけられず、年寄りにはくたばるしか方法がない。本当に嫌な政治が続くものです。貴政党に世直しをお願いします。(80代)
- 先の戦争で学校を焼かれ、先生を爆弾で殺され、疎開でいじめに会い、少しの食物で争いが絶えず、ひもじくて、ひもじくて、この経験を子や孫に味あわせたくない。戦争を避けるようにするのが政府の仕事だと思います。安倍政権は間違っている。(70代・女)

暑中お見舞い申し上げます



(控室かいつ)  
92歳の誕生日

なほまどか

7月15日、日本共産党は、党創立92周年を迎えました。政党の中では一番の老舗・長寿の政党です。

これほど長い期間、名前を変えず、時には非人間的な弾圧も強いられた時期を乗り越え、国民の前で歴史を積み上げてきた政党で活動できることを誇ります。

私が党に出会い、入党したのは大学4年の時です。すでに留年が決まっていた私は、学費の支払いをどうしようかと悩み、休学も考えていました。その時に、他国と比べ異常に高い日本の学費の実態を明らかにし、教育の無償化を訴えていた政党が共産党でした。

個々が直面している問題を、個人の問題としてではなく、社会や政治の問題としてとらえることの大切さを気付かせてくれました。

「共産党も名前を変えたいの……」とこの指摘をよく受けますが、政党の離合集散が目に見えるまで来たら党名は変えないほうがいい」とこの激励も多く寄せられます。

戦前戦後、民主主義・反戦平和を貫いてきた歴史を受け止め、平和とくらしを守るために政治を変えるという原点に立ち、頑張りたいと決意を新たにしている仲間です。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団  
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか  
熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 911  
2014年8月3日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



## 平和の大切さを学んだ「韓国歴史と平和の旅」

先週号は、写真部分の印刷が悪く申し訳ありませんでした。写真のみ再掲します。韓国ツアーは、日本軍『慰安婦問題』など歴史の真実に学ぼうと、年金者組合の藤本智子さんの企画で実現し、総勢18名で、参加しました。(益田牧子)



ナムムの家訪問～多くの日本軍『慰安婦』被害者のハルモニたちが眠るお墓とモニュメント



ソウル市「西大門刑務所」跡歴史館 死刑場跡地と受刑者を見送ったポプラ



日本大使館前での1134回目水曜集会 2人のハルモニと参加者と「少女像」



ソウル市の街中を流れる清溪川～ふたをし、道路にしていた川を再生させた

## 後期高齢者医療広域連合臨時議会報告

7月22日、広域連合臨時議会が開催され、日本共産党からは、益田牧子市議と小林久美子菊陽町議が参加し、質疑・一般質問を行いました。新議長に三島良之熊本市議会議長が選出されました。13年度・14年度特別会計補正予算の質疑・一般質問の主なものを紹介します。

### 歯科健診実施に向け、歯科医師会と協議中

小林久美子議員は、「肺炎予防球菌ワクチン予防接種助成事業が国の制度化により、一般行政に移行する。その費用を健診無料化や歯科検診の予防活動にまわすべきだ」と求めました。幸山連合長は、健診無料化には、「実施しない」と述べ、歯科検診については、「歯科医師会などと健診項目等について検討を始めている。実現に向けて、更に協議を精力的に進めていきたい」と前向きな答弁がありました。

### 口腔ケアは、高齢者の健康維持に大きな効果

高齢化により日本人の死因第3位になっている肺炎を予防するためには、専門的な口腔ケアが大きな効果を発揮しています。高齢者の健康のベースは、栄養状態をアップさせることにあります。寝たきりを防ぐためにも、低栄養を改善しなければなりません。そのためには、口腔の健康と機能を維持することが大事になります。(全国保険医団体連合会パンフレットより)

九州では、長崎、鹿児島県広域連合が、75歳からの歯科無料検診を実施し、口腔ケアに取り組んでいます。益田牧子議員も、何度も歯科検診実施を要望してきました。来年度からの実施が待たれます。

### 一部負担減免制度の医療機関等への周知を!

益田牧子議員は、広域連合が独自に定めている医療費一部負担減免制度の活用ゼロの実態を示し、医療機関や介護支援センターなどへの制度の周知徹底と連携を求めました。幸山連合長からは、「今後、市町村及び関係団体等との協議をしていきたい」と答弁がありました。